

2011年5月1日より実施される

ルールの要約

男女の競技能力の差は主に男性ホルモンの違いに由来するので、陸上競技は今後とも男子競技と女子競技に分けて行われる。

法によって女性として認められた高アンドロゲン女性は、血清アンドロゲン濃度が男性のレベルよりも低いか、もしくは血清アンドロゲン濃度が男性のレベルと同等であっても、アンドロゲン抵抗性で、高アンドロゲンレベルによる競技能力の優位性がなければ、女性競技に参加できる。

IAAFはすでに複数の国際的な医療エキスパートを任命しており、疑義のあった競技者について検討してもらい、参加資格についての意見をもらうこととしている。

3段階の医療プロセスを設定し、すべてのデータがエキスパートに届けられる。このプロセスには、IAAFが認定した世界に6つの専門機関での、検査も含まれる。

すべての医療プロセスは秘密裏に行われ、エキスパートに対しても競技者は匿名とする。

規則にそぐわない、もしくは資格認定プロセスを拒否する女性競技者は女性競技に参加できない。